

## 令和2年度 学校評価の結果について

### 1 実施期間

令和2年11月24日（火）～12月7日（月）

### 2 対象者

・教職員の自己評価 ー教職員 32名：回答者 32名（回収率 100%）

・保護者アンケートー保護者 55名：回答者 53名（回収率 96.4%）※前年度 98.3%

\*今回のアンケートでは、一人あたりのポイントが教職員は 3.1 ポイント、保護者は 1.9 ポイントに相当します。

### 3 教職員の自己評価の結果

#### (1) 概要

教職員の自己評価の集計結果について、別紙資料の表1に記します。また、自由記述を表3に記します。全31項目における「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた「肯定的評価」の割合を以下に示します。

大項目	100～90%項目数	89～80%項目数	79～70%項目数	70%未満項目数
学校経営	6項目	3項目	—	1項目
家庭・地域・関係機関連携	3項目	2項目	—	—
教育環境・安全	3項目	—	—	—
教育活動	6項目	1項目	—	—
進路指導	3項目	—	—	—
P T A活動	1項目	—	—	—
満足度	2項目	—	—	—
合計項目数 (前年度項目数)	24項目 (前年度24項目)	6項目 (前年度2項目)	0項目 (前年度3項目)	1項目 (前年度2項目)

この中で、80%未満の割合となった項目は、1項目です。大項目「学校経営」に関する項目でした。前年度と比較すると全体的に上昇傾向でした。

① Q6 学部や分掌業務の分担、効率化 65.7%（前年度比 + 4.4ポイント）

#### (2) 前年度との比較

ア 前年度と比較して「肯定的評価」のポイントが6.2%以上下降した項目…2項目

① Q14 地域連携 87.5%（前年度比 - 9.3ポイント）

② Q24 児童生徒同士のトラブルの未然防止、適切な対応 84.4%（前年度比 -12.4ポイント）  
は、10ポイント以上下降した項目

イ 前年度と比較して「肯定的評価」のポイントが6.2%以上上昇した項目…9項目

① Q7 適切な教育課程の組織 87.5%（前年度比 +10.1ポイント）

② Q8 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成と活用 84.4%（前年度比 +16.7ポイント）

③ Q10 特別支援教育のセンター的機能の発揮 100.0%（前年度比 + 6.5ポイント）

④ Q16 施設設備の活用 96.9%（前年度比 + 6.6ポイント）

⑤ Q20 児童生徒に合った指導・支援 100.0%（前年度比 + 6.5ポイント）

⑥ Q22 基本的生活習慣やマナー等の指導 100.0%（前年度比 + 6.5ポイント）

- ⑦ Q26 児童生徒の発達段階に合わせた働くことに必要な力の育成 100.0% (前年度比 +22.6ポイント)
- ⑧ Q30 本校業務が自己のスキルアップに役立っている 93.7% (前年度比 +9.8ポイント)
- ⑨ Q31 本校勤務にやりがい 90.6% (前年度比 +19.6ポイント)

※ は、10ポイント以上上昇した項目

\*ポイントが6.2以上の変化は、昨年度と比較して2名分以上の変動ということになります。

#### 4 保護者の学校評価の結果

##### (1) 概要

保護者の学校評価の集計結果について、別紙資料の表2に記します。また、自由記述を表4に記します。全27項目における「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた「肯定的評価」の割合を以下に示します。

大項目	100～90%項目数	89～80%項目数	79～70%項目数	70%未満項目数
学校経営	3項目	—	—	—
家庭・地域・関係機関連携	5項目	3項目	—	—
教育環境・安全	3項目	—	—	—
教育活動	6項目	1項目	—	—
進路指導	1項目	2項目	—	—
P T A活動	1項目	—	—	—
満足度	2項目	—	—	—
合計項目数 (前年度項目数)	21項目 (前年度17項目)	6項目 (前年度9項目)	0項目 (前年度1項目)	0項目 (前年度0項目)

この中で、80%未満の割合となった項目はありませんでした。前年度と比較すると全体的に上昇傾向でした。

##### (2) 前年度との比較

ア 前年度と比較して「肯定的評価」のポイントが5.7%以上下降した項目・1項目

- ① Q11 ホームページや校報などによる情報発信 94.3% (前年度比 -5.7ポイント)  
※10ポイント以上下降した項目なし

イ 前年度と比較して「肯定的評価」のポイントが5.7%以上上昇した項目・4項目

- ① Q3 大学教育学部と一体となった教育実習，その成果を反映した教育活動 94.3% (前年度比 +11.8ポイント)
- ② Q9 学校医，相談機関等との連携 88.7% (前年度比 +11.5ポイント)
- ③ Q18 基本的な生活習慣やマナー等の学習 98.1% (前年度比 +6.9ポイント)
- ④ Q20 子ども同士のトラブルが起こらないような配慮 94.4% (前年度比 +11.9ポイント)
- ※ は、10ポイント以上上昇した項目

\*ポイントが5.7以上の変化は、昨年度と比較して3名分以上の変動ということになります。

#### 5 考察（改善への方向性）

教職員の自己評価は、昨年度と比較して18項目が上昇し、7項目が下降しました。全体的に評価は上昇傾向でした。

保護者の学校評価は、昨年度と比較して11項目が上昇し、8項目が下降しています。全体的に評価は上昇傾向でした。

以下、評価の中で、肯定的評価が 80%未満となった項目、および 10 ポイント以上下降した項目について、背景と改善に向けた取組について記述します。

### (1) 教職員の自己評価から

ア「Q 6 学部や分掌業務の分担、効率化」について

この項目は、昨年度ポイントが大きく下降しました。今年度は幾分上昇しましたが、相変わらず教員の評価が低い項目となりました。昨年度の反省から、今年度は学部と分掌の業務分担を見合わせながら、同時期に担当業務が集中しないよう調整を図ることにより取り組みましたが、十分とは言えない状況でした。また、今年度の学部、校務分掌の教員配置にも課題があり、ポイントを下げる要因になっています。来年度に向けては、教員の担当業務を確認し可能な限り同時期の担当業務の重複を避けるよう進めていきます。また、学部、校務分掌に係る教員配置については、主事主任と十分に協議しつつ適正配置が実現できるよう努めてまいります。

イ「Q24 児童生徒同士のトラブルの未然防止、適切な対応」について

この項目は、昨年に比べ 12.4 ポイント低下していますが、教員の自由記述にもあるとおり、「児童生徒のトラブルを未然に防ぐことができる事案もあった。」との思いによるものと思われます。一方、保護者評価においては、「Q20 子ども同士のトラブルが起こらないような配慮」のポイントが昨年度に比べ 11.9 ポイント上昇していることから、本校の取組が保護者に皆様から評価していただいているものと捉え、今後も未然防止に向けた取組を継続していくことがさらなる改善につながると考えます。

### (2) 保護者の学校評価から

今年度につきましては該当する項目はありませんでした。コロナ禍にあつて通常の教育活動が難しい状況ではありましたが、保護者の皆様のご理解ご協力の下、様々な工夫をしながら日々の学習を進めてきたことをおおむねお認めいただいた結果と考えております。

一方、肯定的評価が 80%台の項目は、「家庭・地域・関係機関連携」が 3 項目、「教育活動」が 1 項目、「進路指導」が 2 項目ありました。この中で、「Q10 送迎や日中デイなどのサービス事業との連携」「Q22 働くことに必要な力を育てる学習」につきましては、依然低いポイントとなっています。福祉サービス事業所とは、送迎時に学校でのお子様の様子をお伝えしており、このほかにも事業所の依頼に応じて情報交換会を行っているところです。今年度は、コロナ禍もあり機会はありませんでしたが、今後も日常の申し送りを丁寧に行ってまいります。また、進路指導にかかわっては、作業学習や進路の学習を中心に卒業後の働く生活に必要な力を育てているところですが、小中高等学校で始まった「キャリアパスポート」の取組のように、学習した内容を保護者の皆様にもお伝えできるよう、さらに検討を進めてまいります。

## 6 まとめ

教職員の自己評価及び保護者の学校評価についてみてきましたが、両者の評価とも大きくポイントが下降した項目はなく、全体的に評価が上昇したことは評価できます。

教職員の自己評価における Q 6 の項目については、限られた人員でたくさんの業務を抱え多忙化を解消できない本校の教職員の切実な思いととらえております。今後とも改善に向けて半歩でも一歩でも進めるよう検討を進めます。また、10 ポイント以上上昇した項目は、「Q 7 適切な教育課程の組織」「Q 8 個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成と活用」「Q26 児童生徒の発達段階に合わせた働くことに必要な力の育成」「Q31 本校勤務にやりがい」の 4 項目でした。これらの結果は、教職員が本校の教育活動に手応えを感じている現れであると考えます。何よりも、本校での勤務にやりがいを感じている教職員が 9 割を超えたことは大変喜ばしいことです。

一方、保護者の学校評価については、肯定的評価が 90%以上となった項目が昨年に比べ4項目増えたことや 80%未満の項目がないなど、今年度の学校経営・教育活動について一定のご理解をいただいたものと考えます。また、10 ポイント以上上昇した項目は、「Q3 大学教育学部と一体となった教育実習、その成果を反映した教育活動」「Q9 学校医、相談機関等との連携」「Q20 子ども同士のトラブルが起こらないような配慮」の3項目でした。特にもいじめ防止に向けた取組にあっては、保護者の皆様に年2回のアンケートへのご協力をいただき、たくさんのご意見を頂戴しておりますが、本校の取組をご理解いただきご協力いただいているものと考えております。

しかしながら、教職員の自由記述における「業務分担・効率化」「個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用」等についての指摘や保護者の自由記述における「日常の学習内容」「情報発信」、「感染症・熱中症対策」等の指摘については、改善事項として受け止め来年度の学校経営・教育活動に生かすよう、さらに検討を進めてまいります。

学校評価を行うことは、本校の教育活動を振り返り、改善の方向性を確認する貴重な機会となっております。今後ともより良い学校づくりの実現に向けて、忌憚のないご意見やご要望、ご提言をいただきますようお願いいたします。

表1 教職員の自己評価集計表

大項目	No.	項目	そう思わない	あまりそう 思わない	だいたい そう思う	そう思う	回答率	無答率	そう思う +だいたい	昨年	ポイント 前年比
学校運営	1	学校教育目標は、本人・保護者の夢や願いが盛り込まれ、児童生徒一人一人に応じたものとなっている。	0.0%	0.0%	53.1%	46.9%	100.0%	0.0%	100.0%	96.8%	3.2%
	2	学校や学部の教育目標の達成に向け、共通理解のもとに一貫した教育活動を行っている。	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%	100.0%	0.0%	100.0%	96.8%	3.2%
	3	大学教育学部と一体となって研究を行い、その成果を反映した教育実践を行っている。	0.0%	6.3%	65.6%	28.1%	100.0%	0.0%	93.7%	90.3%	3.4%
	4	教育実習や介護等体験等の学生指導が効果的に遂行されている。	0.0%	12.5%	53.1%	34.4%	100.0%	0.0%	87.5%	90.3%	-2.8%
	5	学校研究や授業実践について成果を外部に発信し、県内外の特別支援教育の充実・発展に寄与している。	0.0%	9.4%	65.6%	25.0%	100.0%	0.0%	90.6%	87.1%	3.5%
	6	学部や分掌の業務は、適切に分担され効率的に遂行されている。	6.3%	28.1%	46.9%	18.8%	100.0%	0.0%	65.7%	61.3%	4.4%
	7	教育課程は、児童生徒にとって必要かつ十分な学習内容と時数配分によって組織されている。	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	100.0%	0.0%	87.5%	77.4%	10.1%
	8	「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」は組織的に作成され、日々の授業に生かされている。	0.0%	15.6%	59.4%	25.0%	100.0%	0.0%	84.4%	67.7%	16.7%
	9	授業研究会の実施や各種研究会・研修会への参加等により、指導力の強化や専門性の向上に努めている。	0.0%	6.3%	71.9%	21.9%	100.0%	0.0%	93.8%	93.5%	0.3%
	10	地域の幼保、小、中、高校からの相談に対応するなど、特別支援教育のセンター的機能が発揮されている。	0.0%	0.0%	53.1%	46.9%	100.0%	0.0%	100.0%	93.5%	6.5%
家庭・ 地域・ 関係機 関連携	11	「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」について、保護者と話し合う場を設け、課題に取り組んでいる。	0.0%	9.4%	40.6%	46.9%	96.9%	3.1%	87.5%	90.3%	-2.8%
	12	児童生徒の学習や行事などの様子を、連絡帳や学部便り、校報などで家庭に詳しく伝えている。	0.0%	0.0%	31.3%	68.8%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	13	保護者からの相談にはいつでも対応し、解決の姿勢を示している。	0.0%	0.0%	34.4%	65.6%	100.0%	0.0%	100.0%	96.8%	3.2%
	14	地域住民の協力を得たり施設開放などを行ったりして地域連携に努めている。	0.0%	12.5%	59.4%	28.1%	100.0%	0.0%	87.5%	96.8%	-9.3%
	15	福祉サービスや医療、行政などの機関と連携して教育活動を進めている。	0.0%	9.4%	59.4%	31.3%	100.0%	0.0%	90.7%	90.3%	0.4%
教育環 境・安 全	16	児童生徒の安全に配慮して、施設設備を活用している。	0.0%	3.1%	40.6%	56.3%	100.0%	0.0%	96.9%	90.3%	6.6%
	17	児童生徒の登下校の安全について配慮している。	0.0%	3.1%	43.8%	53.1%	100.0%	0.0%	96.9%	100.0%	-3.1%
	18	災害時の安全の確保や備えに取り組んでいる。	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
教育活動	19	児童生徒が楽しく取り組んで取り組める学校行事や学習活動を計画・実施している。	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	100.0%	0.0%	100.0%	96.8%	3.2%
	20	個々の児童生徒に合った学習課題を用意し指導・支援を行っている。	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	93.5%	6.5%
	21	児童生徒の健康・安全への配慮、体力づくりなどの学習を適切に行っている。	0.0%	3.1%	53.1%	43.8%	100.0%	0.0%	96.9%	93.5%	3.4%
	22	基本的な生活習慣や挨拶などのマナー、生活の技能を身に付ける指導を適切に行っている。	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%	0.0%	100.0%	90.3%	9.7%
	23	児童生徒の興味関心に応えたり、得意なことを伸ばしたり、経験を広げたりする学習を適切に行っている。	0.0%	3.1%	53.1%	43.8%	100.0%	0.0%	96.9%	96.8%	0.1%
	24	児童生徒同士のトラブルの未然防止や問題が起こったときの対応を適切に行っている。	0.0%	15.6%	50.0%	34.4%	100.0%	0.0%	84.4%	96.8%	-12.4%
	25	児童生徒の立場に立った声掛けや対応をしている。	0.0%	6.3%	65.6%	28.1%	100.0%	0.0%	93.7%	93.5%	0.2%
進路指導	26	児童生徒の発達段階に合わせ、動くことに必要な力を育てる学習を適切に行っている。	0.0%	0.0%	59.4%	40.6%	100.0%	0.0%	100.0%	77.4%	22.6%
	27	現場実習や進路の学習は、生徒が進路実現のために必要な経験を積んだり、情報を得たりする機会となっている。	0.0%	0.0%	53.1%	46.9%	100.0%	0.0%	100.0%	96.8%	3.2%
	28	保護者にとって進路選択の参考となる情報の提供、施設や実習先の見学、相談対応などは適切に行われている。	0.0%	3.1%	62.5%	34.4%	100.0%	0.0%	96.9%	100.0%	-3.1%
PTA活動	29	PTA活動に対する支援を積極的に行っている。	0.0%	3.1%	56.3%	40.6%	100.0%	0.0%	96.9%	100.0%	-3.1%
満足度	30	本校の業務は、自己のスキルアップに役立っていますか。	0.0%	6.3%	53.1%	40.6%	100.0%	0.0%	93.7%	83.9%	9.8%
	31	本校に勤務することにやりがいを感じますか。	0.0%	6.3%	62.5%	28.1%	96.9%	3.1%	90.6%	71.0%	19.6%

表2 保護者の学校評価集計表

大項目	No.	項目	分からない	そう思わない	あまりそう 思わない	だいたい そう思う	そう思う	回答率	無答率	そう思う+ だいたい	昨年	ポイント 前年比
学校経営	1	学校教育目標は、本人・保護者の夢や願いが盛り込まれ、子ども一人一人に応じたものになっていると思いますか。	1.9%	0.0%	1.9%	45.3%	50.9%	100.0%	0.0%	96.2%	94.7%	1.5%
	2	教職員は、学校や学部・教育目標の達成に向け、協力して教育活動を行っていると思いますか。	1.9%	0.0%	1.9%	41.5%	54.7%	100.0%	0.0%	96.2%	96.5%	-0.3%
	3	学校は、大学教育学部と一体になって教育実習や学校公開研究会を行い、その成果を反映した教育活動を行っていると思いますか。	1.9%	1.9%	1.9%	43.4%	50.9%	100.0%	0.0%	94.3%	82.5%	11.8%
家庭・地域・関係機関連携	4	学校は、家庭に対して教育方針を分かりやすく伝えていると思いますか。	1.9%	0.0%	5.7%	35.8%	54.7%	98.1%	1.9%	90.5%	94.7%	-4.2%
	5	学校は、「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」について話し合いの場を設け、課題に取り組む姿勢があると思いますか。	0.0%	0.0%	5.7%	24.5%	67.9%	98.1%	1.9%	92.4%	94.7%	-2.3%
	6	学校は、子どもの学習や行事などの様子を、連絡帳や学部便り、校報などで家庭に詳しく伝えてくれていると思いますか。	0.0%	0.0%	1.9%	24.5%	73.6%	100.0%	0.0%	98.1%	98.2%	-0.1%
	7	学校は、家庭で困ったことがある時に、いつでも相談できる状況になっていると思いますか。	0.0%	0.0%	7.5%	34.0%	58.5%	100.0%	0.0%	92.5%	89.5%	3.0%
	8	学校は、地域住民の協力を得たり施設開放などを行ったりして、地域連携に努めていると思いますか。	5.7%	3.8%	3.8%	45.3%	41.5%	100.0%	0.0%	86.8%	87.7%	-0.9%
	9	学校は、学校医、相談機関等と連携し、必要な支援を行っていますか。	7.5%	0.0%	3.8%	43.4%	45.3%	100.0%	0.0%	88.7%	77.2%	11.5%
	10	学校は、送迎や日中デイなどのサービス事業と連携を図っていますか。	9.4%	0.0%	9.4%	35.8%	45.3%	100.0%	0.0%	81.1%	80.7%	0.4%
	11	学校のホームページ（インターネット）や校報、PTA会報などによる情報発信は、適切に行われていると思いますか。	1.9%	0.0%	3.8%	35.8%	58.5%	100.0%	0.0%	94.3%	100.0%	-5.7%
教育環境・安全	12	学校は、子どもの安全に配慮して施設設備を活用していると思いますか。	1.9%	0.0%	0.0%	30.2%	67.9%	100.0%	0.0%	98.1%	100.0%	-1.9%
	13	学校は、子どもの登下校の安全について配慮していると思いますか。	1.9%	1.9%	0.0%	30.2%	66.0%	100.0%	0.0%	96.2%	96.5%	-0.3%
	14	学校は、災害時の安全の確保や備蓄に取り組んでいると思いますか。	0.0%	0.0%	1.9%	28.3%	69.8%	100.0%	0.0%	98.1%	96.5%	1.6%
教育活動	15	学校行事や学習活動は、子どもが楽しく進んで取り組めるものになっていると思いますか。	0.0%	0.0%	5.7%	39.6%	54.7%	100.0%	0.0%	94.3%	96.5%	-2.2%
	16	子どもに合った学習課題が用意され指導・支援が行われていると思いますか。	0.0%	0.0%	9.4%	35.8%	54.7%	100.0%	0.0%	90.5%	87.7%	2.8%
	17	子どもの健康・安全への配慮、体力づくりなどの学習は適切に行われていると思いますか。	1.9%	0.0%	1.9%	34.0%	62.3%	100.0%	0.0%	96.3%	94.7%	1.6%
	18	基本的な生活習慣や挨拶などのマナー、生活の技能を身に付ける学習は適切に行われていると思いますか。	0.0%	0.0%	1.9%	37.7%	60.4%	100.0%	0.0%	98.1%	91.2%	6.9%
	19	子どもの興味関心に応えたり、得意なことを伸ばしたり、経験を広げたりする学習は適切に行われていると思いますか。	0.0%	0.0%	13.2%	37.7%	49.1%	100.0%	0.0%	86.8%	89.5%	-2.7%
	20	子ども同士のトラブルが起こらないような配慮は適切に行われていると思いますか。	3.8%	0.0%	1.9%	45.3%	49.1%	100.0%	0.0%	94.4%	82.5%	11.9%
	21	子どもの立場に立った対応や声掛けがなされていると思いますか。	0.0%	0.0%	7.5%	37.7%	54.7%	100.0%	0.0%	92.4%	93.0%	-0.6%
進路指導	22	働くことに必要な力を育てる学習は、子どもの成長に合わせて適切に行われていると思いますか。	11.3%	0.0%	3.8%	34.0%	50.9%	100.0%	0.0%	84.9%	87.7%	-2.8%
	23	進路先の学部や卒業後の働く場などのことを知るための学習は、適切に行われていると思いますか。	9.4%	0.0%	3.8%	35.8%	50.9%	100.0%	0.0%	86.7%	87.7%	-1.0%
	24	保護者にとって進路選択の参考となる情報の提供、施設や実習先の見学、相談への対応などが十分に行われていると思いますか。	3.8%	0.0%	3.8%	39.6%	52.8%	100.0%	0.0%	92.4%	91.2%	1.2%
PTA活動	25	学校と連携し充実したPTA活動が行われていると思いますか。	0.0%	0.0%	3.8%	50.9%	45.3%	100.0%	0.0%	96.2%	94.7%	1.5%
満足度	26	子どもにとって、学校生活は楽しく充実したものになっていると思いますか。	0.0%	1.9%	1.9%	34.0%	62.3%	100.0%	0.0%	96.3%	96.5%	-0.2%
	27	本校の教育に満足していますか。	3.8%	0.0%	1.9%	30.2%	64.2%	100.0%	0.0%	94.4%	94.7%	-0.3%

表3 教職員自由記述

<p>Q 4 <u>教育実習や介護等体験等の学生指導が効果的に遂行されている。</u></p> <p>● 今年度は仕方のなかったことかもしれませんが、制限がある中での実習は学生にとって実りのあるものだったのか、疑問に感じます。</p>
<p>Q 6 <u>学部や分掌の業務は、適切に分担され効率的に遂行されている。</u></p> <p>● 今年度、中学部は職員9名体制で、授業時数や担当する業務も多く、例年以上に負担感がありました。小・高は10人以上職員がいるのに、中学部には人が少ないのはなぜ？と感じました。次年度は適切な人員配置をお願いしたいです。</p> <p>● 主事・主任の任を担っている期間が長期にわたっている。 ⇒ 円滑な業務の引き継ぎ、人材育成の観点から、3年を目途に交代すべき。＜改善策＞</p>
<p>Q 7 <u>教育課程は、児童生徒にとって必要かつ十分な学習内容と時数配分によって組織されている。</u></p> <p>● 教育課程は見直しを行っていないので。</p>
<p>Q 8 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」は組織的に作成され、日々の授業に生かされている。</p> <p>● 個別の教育支援計画の活用ができていないように感じます。たとえば、児童生徒の計画相談を行っている事業所さんとの情報共有のために活用するとか？考えても良いのではないのでしょうか。かなりの労力をさいて作成しているのに使われていないように感じています。</p>
<p>Q24 <u>児童生徒同士のトラブルの未然防止や問題が起こったときの対応を適切に行っている。</u></p> <p>● 児童生徒のトラブルを未然に防ぐことができる事案もあった。（生徒の特性、実態が分かっているのです。）</p>

表4 保護者自由記述

<p>Q 3 <u>学校は、大学教育学部と一体となって教育実習や学校公開研究会を行い、その成果を反映した教育活動を行っていると思いますか。</u></p> <p>● これもコロナのためかと思いますが、大学との連携（実習生さんの来校等）が少なく残念でした。</p>
<p>Q 4 <u>学校は、家庭に対して教育方針を分かりやすく伝えていると思いますか。</u></p> <p>Q 5 <u>学校は、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」についての話し合いの場を設け、課題に取り組む姿勢があると思いますか。</u></p> <p>● 面談以外にも、普段の活動内容にどういう狙いがあるのか等、知る機会があればと思います。（専門的な解説等）</p>
<p>Q11 <u>学校のホームページ（インターネット）や校報、PTA会報などによる情報発信は、適切に行われていると思いますか。</u></p> <p>● ホームページの写真を楽しみにしています。連絡帳で詳しく様子を教えていただいているので、どのように過ごしたのかはわかるのですが、本人が家に帰って話せない分、全体の雰囲気でも良いので、1枚写真で見られると嬉しいです。（特に新しい活動に変わった時）</p> <p>● 中学部の更新が少ないように思います。各家庭に写真を時々いただけるとはとてもありがたいです。なので、全体的なもの（HP）には発信する必要がないのかもしれませんが、時々ひらいて更新されていないと寂しく感じるのです。</p>

<p><u>Q13 学校は、子どもの登下校の安全について配慮していると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中・高の登下校口、車の出入りと子どもの歩く所が同じで、とても危ないです。勝手に車のドアを開けて降りるお子さんも多く、車を並べてとめるのがとても不安です。レスパイトの車も保護者側の方にとめる所もあり、もう一度、安全について全体で（家庭も含め）考えるべきと思います。</li> </ul>
<p><u>Q16 子どもに合った学習課題が用意され、指導・支援が行われていると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者参観の際、初めて授業の様子を見ることができましたが、一人一人に合った課題をその子のペースで取り組み、指導していただいていることにとても感心しました。</li> <li>● (Q4・Q5 も含む)面談の場があったのにも関わらず、学年(担任)が変わったからなのか、次に生かされなかった。こちらから再度要望や思いを伝えて(学部主任を通して)取り組んでいただいた。何のための面談かを、学校・家庭とで共通認識し、よりよい子の成長のために生かされることを期待したい。</li> <li>● しいて言うなら、トライ学習の時間をもう少し増やしていただきたいな、と思います。いわゆる読み書きそろばんです。</li> </ul>
<p><u>Q17 子どもの健康・安全への配慮、体力づくりなどの学習は適切に行われていると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温 30℃超え、または湿度の高い日の屋外活動を控えていただくことは可能か。30℃を超えた日の畑作業や外歩き等あったようだったので。(子どもの自己申告が困難なため心配。)</li> <li>● &lt;熱中症対策&gt;知的障がい、発達障がいがある人は、自律神経の働きが弱く、汗をかきにくい、暑さやのどの渇きを感じる事が苦手な人もいます。障がいのある人ならではの熱中症リスクというものを、しっかり対策してほしい。</li> </ul>
<p><u>Q19 子どもの興味関心に応えたり、得意なことを伸ばしたり、経験を広げたりする学習は適切に行われていると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の子どもの得意なところはどんなところか、そこを伸ばすための学習も限界を決めず、創意工夫をもって、家庭とも連携しながら行うなどすると、もっと成長できることが増えるのではないかと思います。</li> </ul>
<p><u>Q21 子どもの立場に立った対応や声掛けがなされていると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常に子どもに寄り添った対応をしていただいていることで、子どもの能力以上の成長を引き出してもらっていると感じます。ありがとうございます。</li> <li>● 様々なことが困難な子が通う学校だということを常に頭において声掛けをしていただきたい。できないなら、方法を変える、声掛けを変える、課題を変える、なぜできないのか、困っているのか、子どもよりも接する大人側にも何か非がないのかを考えてほしい。常に教えてあげるという目線ではなく、一緒に考え、手助けをしながら寄り添う気持ちでいただけるとありがたいです。</li> </ul>
<p><u>Q26 子どもにとって、学校生活は楽しく充実したものになっていると思いますか。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校」そのものについて、ひどく拒絶反応を起こし、登校渋りが多い。本人のレベルと学習または作業の内容が合致しておらず、達成感がないと思われます。</li> </ul>
<p>[その他]</p> <p><u>新型コロナに関わる事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に、新型コロナのため活動が少なく、「あまりそう思わない」「分からない」が増えてしまいました。</li> <li>・給食時やあにわ祭時、コロナ対策のため様々学校としても考えてくださっていると思っており、安心して通わせていましたが、合同の授業での人の多さ、換気や消毒も頻繁に行われていないように感じました。もしもの時も、対策を最大限していたにもかかわらず罹患してしまった、クラスターになってしまったのならばやむを得ない所もなきにしもあらずですが。一部分のみ見て判断してしまったのなら申し訳ないですが、少し見た時、瞬時にそう感じてしまいました。</li> </ul>